

**ローカルテレビ局の映像を活用した
「新たな映像コンテンツの開発と流通の仕組み」を構築
～第一弾企画「今すぐ行きたい！北海道の絶景」 3月9日から展開～**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:大森壽郎、以下博報堂DYメディアパートナーズ)、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅、以下DAC)、北海道放送株式会社(本社:北海道札幌市、代表取締役社長:渡辺卓、以下HBC)は、Facebook ページ「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」(※)の管理人 詩歩と共同で、ローカルテレビ局が持つ地元の絶景映像を活用した「新たな映像コンテンツの開発と流通の仕組み」を構築し、3月9日より第一弾企画「今すぐ行きたい！北海道の絶景」を展開いたします。

■本仕組みの概要とポイント

人気 Facebook ページの管理人である詩歩が、ローカルテレビ局の持つ絶景映像を厳選。選ばれた映像を局が編集して、高いクオリティの「映像コンテンツ」を制作します。この映像コンテンツは、テレビ番組として放映された後に、「番組を見逃した方」や「番組を見ることができない地域の方々」など、少しでも多くの方々楽しんでいただけるよう、特設 Web サイトにアップします。さらには、「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」などから映像コンテンツへの誘導も行うことで、景色や旅行などに関心の高い方々へと効果的に映像コンテンツを届けます。

《本仕組みが持つ5つのポイント》

- ①テレビ番組の視聴者は、クオリティの高い絶景映像コンテンツを好きなタイミングで何度でも楽しむことができる
- ②映像素材の編集切り口を変えて、より魅力化することで視聴者からの関心が高まり、ローカルテレビ局の活性化につながる
- ③テレビ番組の放送圏内に留まらず、国内外に対して映像コンテンツを通じて地域の魅力を発信できる
- ④映像コンテンツに触れた方々が、当該地域の風景や自然、文化などに関心を持つことで、観光の活性化や文化の広がりや育成などにも繋がり、地域活性化へとつながっていく可能性が生まれる
- ⑤関心の高い方に対してこのコンテンツを届けられる範囲が広がり、より価値の高いコミュニケーションを行うことが可能となる

■「今すぐ行きたい！北海道の絶景」の実施概要

HBC がこれまで撮影してきた北海道内の絶景映像を、詩歩が厳選し、HBC が1分の映像コンテンツに仕上げテレビ放送や Web サイトで展開いたします。

番組名	: 「今すぐ行きたい！北海道の絶景」
放送局	: 北海道放送株式会社(HBC)
放送日程	: 3/9(日)、3/16(日)、3/23(日)、3/30(日) 各11:25～11:30 全4回放送
ナレーション	: 詩歩
協賛社	: 富士重工業株式会社



(画像)「今すぐ行きたい！北海道の絶景」より

■ 問い合わせ先

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 山崎・藤井・桐明 03-6441-9347

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社 社長室 古屋・芦田 03-5449-6300

北海道放送株式会社 広報部 渡辺・萬崎 011-232-5821

【補足資料】

■(※)死ぬまでに行きたい！世界の絶景 とは？

「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」とは、2012年4月にDACの新入社員研修の一環で詩歩が作成したFacebookページです。詩歩が実際に「行ってみたい！」と感じた世界中の絶景を、美しい写真と共に紹介しています。2014年2月現在で60万近くのいいね！獲得し、最も多くのいいね！を集めた投稿は、1投稿で27万を超えるいいね！を獲得している人気ページです。

2013年8月に三オブックスより同名にて書籍化され、その後Amazon総合ランキング第1位、オリコン2013年写真集ランキング第2位を獲得するなど、2014年2月時点で累計22万5千部を突破しています。



Facebook ページ

死ぬまでに行きたい！世界の絶景



書籍版

死ぬまでに行きたい！世界の絶景

■詩歩プロフィール

1990年生まれ。静岡県出身。早稲田大学卒業。DACにて、新規事業開発に携わる。

大学時代より旅行が好きで、ヨーロッパ、アフリカ、南米、日本一周等をバックパックで周った。

新卒研修の一環で作成したFacebookページ「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」が人気を博し、

各種イベントやメディアへの出演、企業とのタイアップ等も実施している。